



2017年6月11日 御報恩御講・創立記念虫弘会の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山と仰ぎ、日蓮大聖人様の763年に及ぶ正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊を信受し、破邪顕正の折伏精神を根本として布教活動をさせていただいております。

① 講中の皆様へ

仏様は私たちに『初心』の究極を教えてください。それは法華経に説く『一念信解・初随喜』という法門です。初心ということは初信にも通ずることで、仏法が説く法門などに触れて、ああこれは有難いという心を起こす感情です。これを信心が進む段階でいうと『名字即』といって法門を聞いて心に喜びを生ぜしめている状態です。その心の状態こそ決定心(けつじょうしん)であり即身成仏です。私たちが目指す境界は、我慢偏執を払い歡喜からの勤行・唱題をなすと共に、折伏の実践で開かれます。

② 創価学会の皆様へ

かつて創価学会戸田第二代会長は「私たちは無知な人々をみちびく車屋である。迷っている人があれば、車に載せて大御本尊様の御もとへ案内することが、学会の唯一の使命である」と述べています。ところが池田氏はこの戸田会長の根本理念をないがしろにしたのです。本来、学会には独自の教義はありません。宗門から破門後は、第26世日寛上人御書写の御本尊を改ざん・コピーした『ニセ本尊』を会員に拝ませています。これは日蓮正宗の教義および、大石寺の御歴代上人や御本尊を勝手に利用する大謗法罪(だいぼうぼうざい)であることを知ってください。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

法華経の教えでは現代を末法時代と説き、この時代は①劫濁(こうじよく・時代社会そのものの乱れ)、②煩惱濁(ぼんのうじよく・苦しみの原因となる貪瞋癡の増乱)、③衆生濁(しゅじょうじよく・人間の身心両面にわたるよごれ)、④見濁(けんじよく・思想の狂い)、⑤命濁(みょうじよく・生命自体の濁り)という五濁が強大となって、争乱や殺りくが絶え間ないと予言しています。日蓮正宗の布教は民衆救済と世界平和のため、真実の仏法をひろめ、「誤った宗教はあなたの人生も国家も不幸にします」と仏様の言葉を教えているのです。是非お尋ねください。

法遍寺 から大切な 皆様へ

2017年7月1日

第5号

日蓮正宗 年間方針

折伏育成の年

法遍寺・天晴寺支部年間方針

青年部育成

全員で折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏完遂

罪障消滅

② 御講参詣で人材育成

幸福境涯

③ 講中みんなで支部総登山

福德倍増

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)